



愛知県保護者会たより

愛知県保護者会 第200回役員会

文責 会長 石井 勝
写真 顧問 深見 和義

10月14日(土)14時より、名古屋国際センター5F第4会議室にて愛知県保護者会第200回役員会を行いました。通常に行われている議題に加え今回は役員会が200回を迎えたことと、来年には愛知県保護者会が25周年を迎えることを踏まえて、愛知県保護者会初代会長の松本潤(現日体大ファンクラブ愛知の会名誉顧問)様より愛知県保護者会の原点と、どんな思いや願いが込められて創設されたのかを1時間にわたり講演をしていただきました。

松本初代会長には7月に正式にお願いをしてから、時間をかけて準備をしていただきました。お忙しい中、事前準備から当日は小雨の降る中お越し下さり、誠に有難うございました。

保護者会の原点のお話では、我が子を東京に行かせる事から始まり日体大愛知県保護者会発足おいて取り組んだことや仕組みづくり、更に日体大愛知県同窓会との連携づくりや日体大ファンクラブ愛知の会の発足まで、24年間の歴史を振り返りながらお話を聴くことができました。愛知県は、保護者会、同窓会、ファンクラブ愛知の会の3つの組織が連携一致して成り立っていると、役員全員があらためて実感することができました。また、今年役員となられた1年生や2年生の方々は今後の役員活動に取り組む上で学びとなったことと思います。

講演の中盤以降は松本初代会長から現役員に対し、期待すること、形をつくる、心を入れるなど多岐にわたりメッセージをいただきました。私も残り約半年の会長としての任期ですが、重責に身の引き締まる思いを抱きました。

来年の7月15日(日)には「日本体育大学愛知県保護者会25周年記念祝賀会」を計画し、テーマを「伝」と設定し準備を始めています。24年間の年月を感じながら、第200回の役員会を終えることができました。

役員会終了後は場所を移し、「松本初代会長を囲む会」を行い、山登りの話など様々な話をするのが楽しく有意義な時間を過ごしました。ありがとうございました。



講演の様子



【 松本 潤初代会長の講演を聴いて 】



会計（1年） 白銀 恭子

今回、愛知県保護者会第200回役員会を記念致しまして、初代会長の松本 潤様の発足当時の貴重なお話をお伺いする機会を頂きました。24年前、お仕事もお忙しい中での広報作成や役員会などご尽力されたおかげで、今もなお愛知県保護者会の活動が続いているのだと感じました。色々な競技で活躍する子供達の影の応援団という立ち位置は今も昔も変わらないもので、こらからも遠くから静かに見守りたいものです。

松本初代会長、本日はありがとうございました。

副会長（1年） 片山 達仁

今年4月から、次男が本学に入学し、夫婦で総会に出席したのがきっかけで保護者会1年生の副会長を務めさせていただくこととなりました。

愛知県保護者会役員会が記念となる第200回、また、来年、愛知県保護者会が創立25周年を迎えるにあたり、初代会長（現ファンクラブ愛知の会名誉会長）の松本 潤様に講話をいただきました。

何も無いところから保護者会がスタートされ、金銭面など当時の御苦労がひしひしと伝わりました。今の私は、保護者として未熟さを感じるとともに、大変勉強になり、大きな励みとなりました。

今後は、子供たちの将来のために、大学との連携を緊密に図り、さらには同窓会やファンクラブの皆様からの御支援・御協力を賜りながら、より一層、貢献できるよう努めていく所存でございます。

松本様におかれましては、ますますの御健勝を御祈念申し上げます。

書記（2年） 酒井 由美子

平成6年度に保護者会を発足されて約四半世紀。講演で一貫して感じたのは日体大と子供達への溢れるほどの愛情でした。また、私が感銘を受けた持斉と風簫の言葉。困難に立ち向かって育って行くよう子供を見守り続けたいと思います。



第100回 日本体育大学 愛知県保護者会たより

発行日 平成29年11月15日
発行所 日本体育大学
愛知県保護者会
発行者 会長 石井 勝

副会長（2年） 永田 敦士

愛知県保護者会役員会が第 200 回を迎えることから、愛知県保護者会初代会長であり、現在日本体育大学ファンクラブ愛知の会名誉顧問であります松本 潤様に記念講演をお願いしました。

松本名誉顧問のお話は、保護者会創設時のお話から、本学同窓会との関わり、各時代の大学関係者との思い出、日本体育大学のことなど多岐にわたり、興味深く拝聴することができました。なかでも「期待すること」としてお話があった件は、

○強い人

強い選手、リーダーとなるためには「志」「識」「恒」を要する、つまり目標・志を持ち、知識・勉強し継続を続けるということ

「継続は力なり」負けない強い人間になる。

○弱い人

弱い人に寄り添える人になる。

怪我などで泣く選手は必ずいるので、そうしたときに寄り添える人間となる。

人間的に大きく、そして人の痛みを知る。

そういう人間・指導者となって欲しいというもので、保護者として子供たちに望む姿と同じであると感じました。つまり、いつの時代でも保護者が学生（子供たち）に望む姿（理想）は不変であり、学生が成長するためにそれをサポートする、それこそが保護者会の活動理念の根源・伝統だと思います。

来年は保護者会創設 25 周年を迎える節目の年となります。

今後もこうした「思い」を継承しながら、保護者会として学生のために活動していきたいと思えます。



左から、松本初代会長、第 24 代会長の石井

幹事（3年） 木村 典子

第 200 回の役員会議にて初代保護者会会長 松本 潤様のお話を聞かせていただきました。

24 年前に保護者会が誕生し、予算も会場も無いなか広報活動を行い、第 1 回総会を開催するには大変なご苦労があったのだと思えました。



御礼の挨拶

娘が日体大に入学し、ご縁あり歴史ある愛知県保護者会役員の一員とさせていただいた事を感謝し、これからも子供達や保護者の皆様のお役にたてるよう活動に参加させていただきたいと思えます。



第100回
日本体育大学
愛知県保護者会たより

発行日 平成29年11月15日
発行所 日本体育大学
愛知県保護者会
発行者 会長 石井 勝



記念撮影

編集後記

100回目の発行となりました。役員会も200回目の役員会となり共に節目の回となりました。今後とも役員協力一致して積み上げていきますのでよろしく願いいたします。

(会長 石井 勝)

愛知県保護者会たよりも遂に第100回目の発行となりました。これも歴代先輩役員の皆様が途切れさせることなく受け継いできた大切な広報活動であり、今後より充実を図っていきたいと思います。

尚、今回に限り100回記念としてゴールドバージョンの雛形にさせていただきました。

(顧問 深見和義)